

令和6年11月08日

令和6年度 浦安市立美浜南小学校 学校地域連携運営協議会 議事録

浦安市コミュニティ・スクール

浦安市立美浜南小学校

1. 全校集会参観【表彰、委員会活動発表、あすなろ学級発表会（はっぴい発表会）】8：30～9：15

◇委員の方からのご意見

- (1) 全校児童の前で表彰されることは、励みになる。
- (2) 人前で話をしている委員長は立派だった。
- (3) あすなろ学級の劇は、練習の積み重ねが表れている。

2. 学校評価アンケートについて

◇学校からの説明

- (1) 教頭からアンケート結果で肯定回答の低い項目、児童、保護者、教職員の肯定回答に乖離がある項目についての説明をした。
- (2) 自由記述は、時間を取り委員に読んでいただいた。

◇委員の方からのご意見等

- (1) 挨拶の評価が、児童と保護者は高いが、教職員が低く出ている原因は何か？（委員）
 - 子どもと同じ高さの目線でないと、子どもは挨拶しにくいのではないかと。知っている人だけが挨拶の対象になっているのではないかと。（教頭）
- (2) 体力の低下にどう取り組むか。（委員）
 - 結果を見て良かった悪かっただけでなく、悪かったからこういう取り組みをしようと、各自、保護者、学校それぞれが考える必要がある。（委員）
 - ひとつのスポーツに取り組んでいると、ケガも多くなるという研究結果も出されている。多くの種目を経験させることにより、体力向上を狙えるのではないかと。（委員）
 - 体力向上の取り組みとしてラグビー協会に依頼し、4～6年生を対象に登校前の時間を使ってタグラグビーを指導していただけることになった。（教頭）
 - 令和7年度は、児童にアンケートを取り、市のスポーツ協会に依頼し、多様な種目を経験させたい。（教頭）
- (3) 子どもは、目標をもって生活しているのだろうか。（委員）
 - 目標は、校長・教頭が機会を作り話していく必要がある（委員）
 - 学校教育目標の具体像を教員自身が思い描いていることが必要である。（委員）
- (4) 子どもは、人に相談できているか。カウンセラーが積極的に面談をしていくとよい。（委員）
 - 児童には、相談体験という形で、給食前、昼休み等を使い、一人ひとりと話をしている。（教頭）
- (5) 学校のやり方が古いというような意見があるか？（委員）
 - 学校は、いつ行ってもいいというスタンスがよいのではないかと。（委員）
 - 毎日が授業参観でもよいのではないかと。はじめは、保護者は面白がって見に来るが、そのうち来なくなると思う。（委員）
 - 保護者には、いつ来てもらってもいい。（教頭）

- (6) 自由記述の文章表現と内容を見ると、マナー面を疑う。(委員)
→アンケートは無記名でよいと思う。(委員)
→自由記述の文章は、マナーのある表現でお願いしたいものである。(委員)

3. 教職員の任用について

◇委員の方からのご意見等

- (1) 若手を増やす方がよいのではないか。時代に合った人材を入れた方がよい。(委員)
→教務主任、学年主任を担える教員をお願いしたい。(校長)
→若年層を指導できるベテラン教員の配置をお願いしたい。(校長)
- (2) 子どもと一緒に遊ぶ先生がよいと思う。そのようなことでお願いできるのか。(委員)
- (3) 教職員の任用は、基本的にプロである校長・教頭にお任せする。(委員)

4. コミュニティ・スクール部屋の視察

候補教室となる教室を見ていただき、室内状況と導線確認、園芸場所との位置関係確認を行った。

◇委員の方からのご意見

- (1) 教室内に水道があるのは良い。
- (2) 入口をグラウンド側にするのか、職員玄関にするのか?→どちらからでも出入りは構わないが、グラウンド側のほうが、警備員もおり、直接教室に入れるので良いと思う。
- (3) 冷暖房があるのは良い。
- (4) 若い人は平日の日中は仕事があるので、どうしても高齢者が対象者になる。
- (5) 地域の方の園芸場所が広い。
- (6) コミュニティ・スクール部屋で、地域の方が将棋など行っているところへ、業間休みの児童が来るなどというのも交流が生まれてよいのではないか。

5. 「美浜南小学校地域スポーツクラブ みはにゃん(仮)」について

◇学校からの説明

- (1) 市内小学校ミニバスケットボール交流試合に男女とも参加予定。指導は保護者が行っているが、大会役員は、学校職員が担当する。
- (2) 浦安市ラグビー協会の協力を得て、3学期に週2回タグラグビークラブを実施予定。
- (3) 今後の展望(運営代表者、募集方法、広報、他)
ミニバスケットボールクラブ実施保護者から、クラブの運営について助言をいただく予定。

◇委員の方からのご意見

- (1) 保護者の指導と運営、見守りは素晴らしいことだと思う。
- (2) 様々な種目のスポーツを展開できれば、子どもにとって経験の幅が広がってよい。

6. 学校徴収金代行業者への依頼について

◇学校からの説明

(1) 学校評価アンケートの自由記述から

- ①キャッシュレス化が進み、現金（特に細かい硬貨）の準備に手間がかかっている。
- ②修学旅行、林間学校、卒業アルバムの支払い等で、すでにキャッシュレス化が行われている。

(2) 安全面から

- ①児童がお金を持ち運ばないため、紛失や盗難を防ぐことができる。
- ②不祥事防止の観点から、教職員が現金を扱わないため、事故防止になる。

(3) 市内の学校では2業者に依頼している。業者から説明を受け、メリット、デメリットをまとめる。

(4) 学校だけでは決められない。12月のPTA本部会議でも議題にする予定。

◇委員の方からのご意見

(1) 修学旅行、林間学校、卒業アルバムは、なぜキャッシュレスでできているのか> (委員)

→単独の業者に支払うのでキャッシュレスが可能である。教材等になると、いくつもの業者に支払うことになるので、代行業者を通す必要がありキャッシュレスの方法が難しい。

(2) 手数料が発生したとしても、メリットがあるのではないか。

7. 敷地内園芸エリア設置について

◇学校からの説明

(1) 敷地内園芸エリア設置と場所の提示を行った。

(2) 11月15日（金）に1年生「花いっぱい活動」実施予定。

参加者：保護者、学校支援コーディネーター、社会福祉協議会東1支部、うらやすガーデナーズクラブ

(3) 実行委員長・委員の選出（企画、運営代表者選出、募集方法、広報、他）

前3丁目自治会長ご夫妻と懇談。地域人材の掘り起こしを実施中。

(4) ボランティアセンター設置に向け先進校の視察を予定。

◇委員の方からのご意見

(1) 各自治会に話を持っていくしかない。

(2) 地域が高齢化なので、難しい面もある。